

Q1 次の①, ②について,  $y$  を  $x$  の式で表しなさい。

- ① 1 辺が  $x$  cm の正方形の面積を  $y$  cm<sup>2</sup> とする。      ② 底辺の 1 辺が  $x$  cm, 高さが 5 cm の正四角柱の体積を  $y$  cm<sup>3</sup> とする。

Q2  $y$  は  $x$  の 2 乗に比例し,  $x = 3$  のとき,  $y = 18$  である。このとき, 次の問に答えなさい。

- ①  $y$  を  $x$  の式で表しなさい。      ②  $x = -5$  のとき,  $y$  の値を求めなさい。

Q3 次の問に答えなさい。

- ①  $y$  は  $x$  の 2 乗に比例し,  $x = 2$  のとき,  $y = 12$  である。このとき,  $y$  を  $x$  の式であらわしなさい。      ②  $y$  は  $x$  の 2 乗に比例し,  $x = 3$  のとき,  $y = 18$  である。このとき,  $x = 6$  のとき,  $y$  の値を求めなさい。

— <今日のひとこと> —

200に到達するには, 199までの積み重ねが大事だった。(イチロー)

Q 1

①  $y = x^2$       ②  $y = 5x^2$

Q 2

①  $y = 2x^2$       ②  $y = 50$

Q 3

①  $y = 3x^2$       ②  $y = 72$

Q 1

次の①, ②について,  $y$  を  $x$  の式で表しなさい。① 1 辺が  $x$  cm の正方形の面積を  $y$  cm<sup>2</sup> とする。

$$y = x \times x$$

$$y = x^2$$

② 底辺の 1 辺が  $x$  cm, 高さが 5 cm の正四角柱の体積を  $y$  cm<sup>3</sup> とする。

$$y = x \times x \times 5$$

$$y = 5x^2$$

Q 2

 $y$  は  $x$  の 2 乗に比例し,  $x = 3$  のとき,  $y = 18$  である。このとき, 次の問に答えなさい。①  $y$  を  $x$  の式で表しなさい。

$$y = ax^2 \text{ に, } x = 3, y = 18$$

$$\text{を代入して, } 18 = a \times 3^2$$

$$9a = 18$$

$$a = 2 \text{ よって, } y = 2x^2$$

②  $x = -5$  のとき,  $y$  の値を求めなさい。

$$y = 2x^2 \text{ に, } x = -5 \text{ を代入して,}$$

$$y = 2 \times (-5)^2$$

$$= 2 \times 25$$

$$= 50$$

Q 3

次の問に答えなさい。

①  $y$  は  $x$  の 2 乗に比例し,  $x = 2$  のとき,  $y = 12$  である。このとき,  $y$  を  $x$  の式であらわしなさい。

$$y = ax^2 \text{ に, } x = 2, y = 12 \text{ を}$$

$$\text{代入して, } 12 = a \times 2^2$$

$$4a = 12$$

$$a = 3$$

$$\text{よって, } y = 3x^2$$

②  $y$  は  $x$  の 2 乗に比例し,  $x = 3$  のとき,  $y = 18$  である。このとき,  $x = 6$  のとき,  $y$  の値を求めなさい。

$$y = ax^2 \text{ に, } x = 3, y = 18 \text{ を}$$

$$\text{代入して, } 18 = a \times 3^2$$

$$9a = 18$$

$$a = 2$$

$$\text{よって, } y = 2x^2 \text{ となるから, この式に,}$$

$$x = 6 \text{ を代入して, } y = 2 \times 6^2 = 72$$

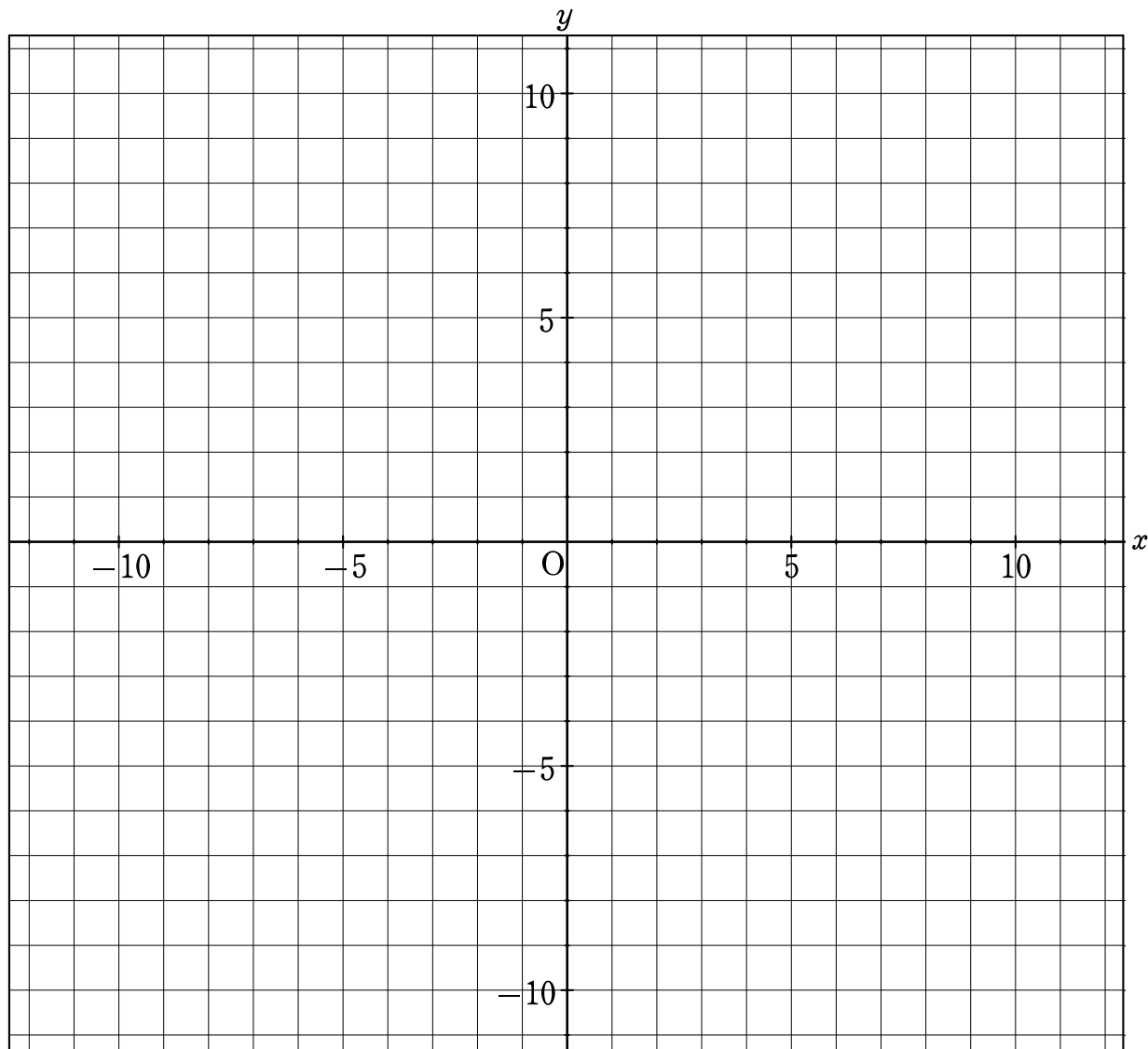
Q 次の式のグラフを書きなさい。

①  $y = 3x^2$

②  $y = -x^2$

③  $y = \frac{2}{3}x^2$

④  $y = -\frac{1}{4}x^2$



＜今日のひとこと＞

最初から全力でいかない奴は、その時点で先がない。(志村けん)

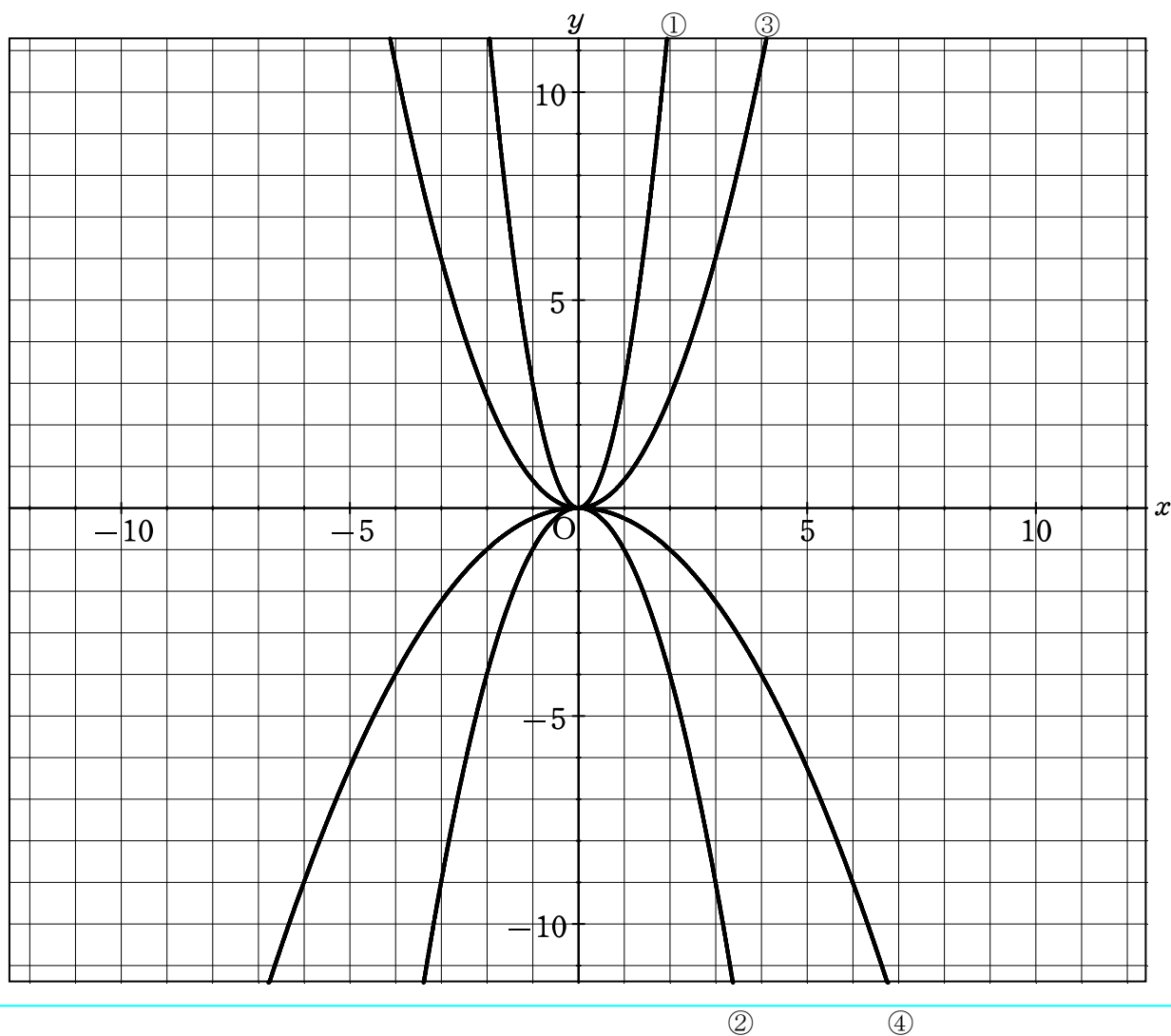
Q 次の式のグラフを書きなさい。

①  $y = 3x^2$

②  $y = -x^2$

③  $y = \frac{2}{3}x^2$

④  $y = -\frac{1}{4}x^2$



Q 次の問に答えなさい。

① 関数  $y = -\frac{1}{2}x^2$  において、 $x$  の変域が  $-1 \leq x \leq \frac{1}{2}$  のとき、 $y$  の変域を求めなさい。

② 関数  $y = ax^2$  について、 $x$  の変域が  $-2 \leq x \leq 1$  のとき、 $y$  の変域が  $0 \leq y \leq 12$  となった。  
このとき、 $a$  の値を求めなさい。

③  $y$  は  $x$  の2乗に比例する関数であり、グラフは、点  $(-3, -9)$  を通る。 $x$  の変域が  $m \leq x \leq n$  のときの  $y$  の変域は  $-16 \leq y \leq -1$  である。このとき、 $y$  を  $x$  の式で表しなさい。また、 $m$ 、 $n$  の値求めなさい。

＜今日のひとこと＞

夢は自分から逃げない！いつも逃げるのは自分。(若旦那(湘南乃風))

Q 次の問に答えなさい。

①  $-\frac{9}{8} \leq y \leq 0$

②  $a = 3$

③  $m = -4, n = -1$

Q 次の問に答えなさい。

①  $x = -1$  のとき  $y = -\frac{1}{2} \times (-1)^2 = -\frac{1}{2}$

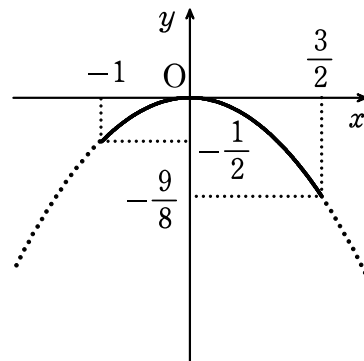
$x = \frac{3}{2}$  のとき  $y = -\frac{1}{2} \times \left(\frac{3}{2}\right)^2 = -\frac{9}{8}$

$x = 0$  のとき  $y = -\frac{1}{2} \times 0^2 = 0$

よって、 $-1 \leq x \leq \frac{3}{2}$  における関数  $y = -\frac{1}{2}x^2$

のグラフは右の図のようになる。

したがって、求める  $y$  の変域は  $-\frac{9}{8} \leq y \leq 0$



② 関数  $y = ax^2$  について

$x = -2$  のとき  $y = a \times (-2)^2 = 4a$

$x = 1$  のとき  $y = a \times 1^2 = a$

$-2 \leq x \leq 1$  のとき、 $y$  の変域が  $0 \leq y \leq 12$  となるから、 $x = -2$  のとき  $y = 12$  である。

よって  $4a = 12$

したがって  $a = 3$

③  $y$  は  $x$  の 2 乗に比例するから、 $a$  を比例定数として  $y = ax^2$  とおける。

$x = -3, y = -9$  を  $y = ax^2$  に代入して、 $-9 = a \times (-3)^2$

$a = -1$

よって、求める式は  $y = -x^2$

$y = -16$  を  $y = -x^2$  に代入して、 $-16 = -x^2$

$x^2 = 16$

$x = \pm 4$

$y = -1$  を  $y = -x^2$  に代入して、 $-1 = -x^2$

$x^2 = 1$

$x = \pm 1$

$m, n$  は負の数で、 $m \leq x \leq n$  のときの  $y$  の変域が  $-16 \leq y \leq -1$  だから

$m = -4, n = -1$

Q1 関数  $y = -4x^2$  について、 $x$  の値が次のように増加するときの変化の割合を求めなさい。

① 3 から 5 まで

② -2 から 0 まで

Q2 次の問に答えなさい。

①  $y$  は  $x$  の 2 乗に比例し、 $x = 2$  のとき、 $y = -4$  である。 $x$  が 4 から 6 まで増加するときの変化の割合を求めなさい。

② 関数  $y = ax^2$  は、 $x$  の値が 1 から 3 まで増加するときの変化の割合が 8 である。この関数について、 $x$  の値が 3 から 5 まで増加するときの変化の割合を求めなさい。

Q3 次の問に答えなさい。

① 2 つの関数  $y = 3x^2$  と  $y = ax - 2$  について、 $x$  の値が 1 から 4 まで増加するとき、変化の割合が等しいという。このとき、 $a$  の値を求めなさい。

② 2 つの関数  $y = ax^2$  と  $y = 4x + 1$  について、 $x$  の値が 1 から 5 まで増加するとき、変化の割合が等しいという。このとき  $a$  の値を求めなさい。

— <今日のひとこと> —

よーし、やるぞ！ と思うときがある。  
そのやる気が「ずっと続くもの」だと思っている人のやる気は長続きしない。(山崎拓巳)

Q 1 ①  $-32$

②  $8$

Q 2 ①  $-10$

②  $16$

Q 3 ①  $a = 15$

②  $a = \frac{2}{3}$

Q 1 関数  $y = -4x^2$  について、 $x$  の値が次のように増加するときの変化の割合を求めなさい。

① 3 から 5 まで

$$\begin{aligned} & -4(3+5) \\ &= -4 \times 8 \\ &= -32 \end{aligned}$$

②  $-2$  から  $0$  まで

$$\begin{aligned} & -4(-2+0) \\ &= -4 \times (-2) \\ &= 8 \end{aligned}$$

Q 2 次の問に答えなさい。

①  $y$  は  $x$  の 2 乗に比例し、 $x = 2$  のとき、 $y = -4$  である。 $x$  が 4 から 6 まで増加するときの変化の割合を求めなさい。

$$\begin{aligned} & y = ax^2 \text{ で、} x = 2, y = -4 \text{ を代入して、} \\ & -4 = a \times 2^2 \\ & 4a = -4 \\ & a = -1 \\ & \text{よって、} -1(4+6) \\ & \quad = -1 \times 10 \\ & \quad = -10 \end{aligned}$$

② 関数  $y = ax^2$  は、 $x$  の値が 1 から 3 まで増加するときの変化の割合が 8 である。この関数について、 $x$  の値が 3 から 5 まで増加するときの変化の割合を求めなさい。

$$\begin{aligned} & y = ax^2 \text{ で、} \\ & a(1+3) = 8 \\ & 4a = 8 \\ & a = 2 \\ & \text{よって、} 2(3+5) \\ & \quad = 2 \times 8 \\ & \quad = 16 \end{aligned}$$

Q 3 次の問に答えなさい。

① 2 つの関数  $y = 3x^2$  と  $y = ax - 2$  について、 $x$  の値が 1 から 4 まで増加するとき、変化の割合が等しいという。このとき、 $a$  の値を求めなさい。

$$\begin{aligned} 3(1+4) &= a \\ a &= 15 \end{aligned}$$

② 2 つの関数  $y = ax^2$  と  $y = 4x + 1$  について、 $x$  の値が 1 から 5 まで増加するとき、変化の割合が等しいという。このとき  $a$  の値を求めなさい。

$$\begin{aligned} a(1+5) &= 4 \\ 6a &= 4 \\ a &= \frac{2}{3} \end{aligned}$$



Q 1 次の①～③にあてはまる関数を下のア～クの中から選び、記号で答えなさい。

ア.  $y = x + 2$

イ.  $y = -3x + 6$

ウ.  $y = -x$

エ.  $y = 8x - 5$

オ.  $y = \frac{2}{3}x^2$

カ.  $y = -\frac{1}{2}x^2$

キ.  $y = x^2$

ク.  $y = -6x^2$

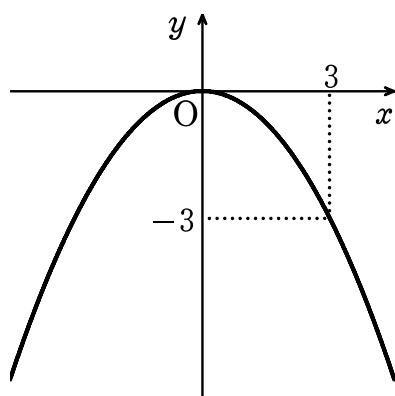
① 変化の割合が一定であるもの

②  $x$ が増加するとき、 $y$ はつねに減少するもの

③ グラフが下に開いているもの

④  $x$ が増加するとき、 $y$ は $x = 0$ を境として、減少から増加に変わるもの

Q 2 関数  $y = ax^2$  について、次の問に答えなさい。



①  $x = 2$  のとき、 $y = 4$  である。このとき、 $a$  の値を求めなさい。

② グラフが左のような放物線になるとき、 $a$  の値を求めなさい。

③  $x$  の変域が  $-1 \leq x \leq 2$  のとき、 $y$  の変域が  $0 \leq y \leq 8$  である。このとき、 $a$  の値を求めなさい。

④  $x$  の値が  $-4$  から  $-2$  まで増加するとき、変化の割合が  $18$  である。このとき、 $a$  の値を求めなさい。

<今日のひとこと>

「いつまでに」のない目標は、いつまでも実現しない。(ソフトバンク創業者 孫正義)

Q1 次の①～③にあてはまる関数を下のア～クの中から選び、記号で答えなさい。

- ① ア, イ, ウ, エ                      ② イ, ウ                      ③ カ, ク                      ④ オ, キ

Q2 下の図の関数  $y = ax^2$  について、次の間に答えなさい。

- ①  $a = 1$                       ②  $a = -\frac{1}{3}$                       ③  $a = 2$                       ④  $a = -3$
- 

Q1 次の①～③にあてはまる関数を下のア～クの中から選び、記号で答えなさい。

- ① 1次関数であるものを選べばよいから、ア, イ, ウ, エ                      ② 1次関数で、傾きが負のものを選べばよいからイ, ウ
- ③  $y$  が  $x$  の2乗に比例する関数で、 $a$  がマイナスのものを選べばよいから、カ, ク                      ④  $y$  が  $x$  の2乗に比例する関数で、 $a$  が正であるものを選べばよいから、オ, キ

Q2 関数  $y = ax^2$  について、次の間に答えなさい。

- ①  $y = ax^2$  に  $x = 2$ ,  $y = 4$  を代入して、 $4 = a \times 2^2$  よって、 $a = 1$
- ② グラフが点  $(3, -3)$  を通るから、 $-3 = 3^2$  よって、 $a = -\frac{1}{3}$
- ③  $y = ax^2$  は  $x = 2$  で最大値  $y = 8$  をとるから、 $8 = a \times 2^2$  よって、 $a = 2$
- ④  $a(-4 - 2) = 18$   
 $-6a = 18$   
 $a = -3$

Q 右の表は、あるピザ店で売られているピザのサイズと半径、値段を表したものである。

このピザ店では、新たに M サイズより大きい L サイズのピザを売り出そうと計画した。そこで、L サイズのピザの半径と値段について、右の表をもとに、半径を  $x$  cm、値段を  $y$  円として、次の A、B の 2 つの方法を用いて考えた。

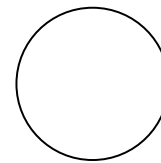
表

サイズ	S	M
半径 (cm)	12	14
値段(円)	720	980

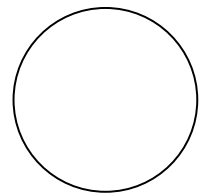
A の方法  
 $y$  は  $x$  の 1 次関数となるようにする。

B の方法  
 $y$  は  $x$  の 2 乗に比例する関数となるようにする。

S サイズ



M サイズ



次の (1) ~ (3) の問いに答えなさい。

(1) A の方法を用いたとき、 $y$  を  $x$  の式で表しなさい。また、このとき、半径が 20 cm のピザの値段を求めなさい。

(2) B の方法を用いたとき、 $y$  を  $x$  の式で表しなさい。また、このとき、半径が 20 cm のピザの値段を求めなさい。

(3) A、B それぞれの方法で求めた L サイズのピザの値段を比較していくと、半径を大きくするほど値段の差は急激に大きくなっていく。その理由を、「変化の割合」という語を用いて書きなさい。

＜今日のひとこと＞

やる気がなくなったのではない。やる気をなくすという決断を自分でしただけだ

(アルフレッド・アドラー)

Q

(1) 1760 円

(2) 2000 円

- (3) A の方法では変化の割合は一定であるが、B の方法では変化の割合は一定ではなく、増加していくから。

Q

- (1)  $y$  は  $x$  の 1 次関数となるとき、その式は  $y = mx + n$  とおける。

$$x = 12 \text{ のとき } y = 720 \text{ であるから } 720 = 12m + n \quad \cdots \cdots \textcircled{1}$$

$$x = 14 \text{ のとき } y = 980 \text{ であるから } 980 = 14m + n \quad \cdots \cdots \textcircled{2}$$

$$\textcircled{2} - \textcircled{1} \text{ より } 260 = 2m$$

$$m = 130$$

$$m = 130 \text{ を } \textcircled{1} \text{ に代入すると } 720 = 12 \times 130 + n$$

$$n = -840$$

$$\text{よって、求める式は } y = 130x - 840$$

$$x = 20 \text{ を } y = 130x - 840 \text{ に代入すると } y = 130 \times 20 - 840 = 1760$$

$$\text{したがって、求めるピザの値段は } 1760 \text{ 円}$$

- (2)  $y$  は  $x$  の 2 乗に比例するとき、その式は  $y = ax^2$  とおける。

$$x = 12 \text{ のとき } y = 720 \text{ であるから } 720 = a \times 12^2 \quad a = 5$$

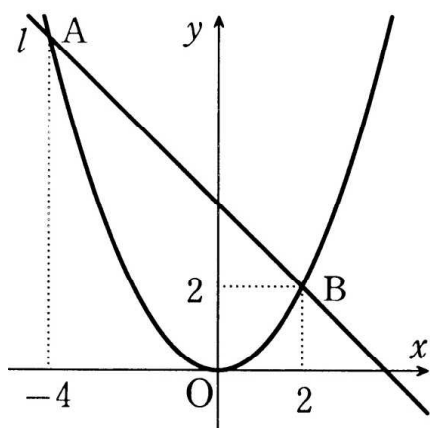
$$\text{よって、求める式は } y = 5x^2$$

$$x = 20 \text{ を } y = 5x^2 \text{ に代入すると } y = 5 \times 20^2 = 2000$$

$$\text{したがって、求めるピザの値段は } 2000 \text{ 円}$$

- (3) A の方法では、変化の割合は一定であるが、B の方法では、変化の割合は一定ではなく増加していくから。

- Q 1 下の図は、関数  $y = ax^2$  のグラフで、グラフ上の2点A、Bを通る直線を  $l$  とする。このとき、次の問に答えなさい。

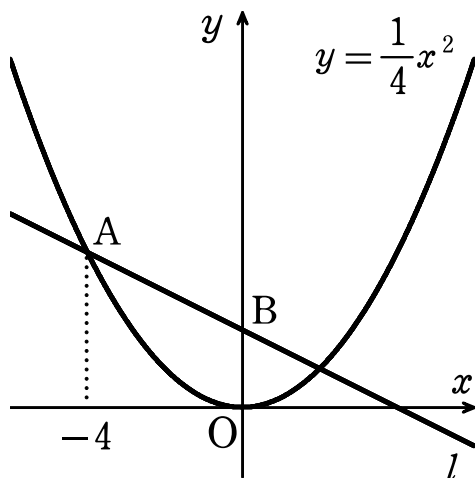


① 点Aの座標を求めなさい。

② 直線  $l$  の式を求めなさい。

③  $\triangle OAB$  の面積を求めなさい。

- Q 2 下の図のように、関数  $y = \frac{1}{4}x^2$  のグラフ上に、 $x$  座標が  $-4$  である点Aをとる。Aを通り、傾きが  $-\frac{1}{2}$  である直線を  $l$  とし、 $l$  と  $y$  軸の交点をBとする。このとき、 $\triangle OAB$  の面積を求めなさい。



<今日のひとこと>

20年学校行って40年働いて、人間て何のために生きてるんだろうね。(磯野カツオ)

Q 1

- ①
- $A(-4, 8)$
- ②
- $y = -x + 4$
- ③ 12

Q 2

面積は, 4

Q 1

下の図は, 関数  $y = ax^2$  のグラフで, グラフ上の2点A, Bを通る直線を  $l$  とする。このとき, 次の問に答えなさい。

- ① 点B(2, 2)だから,
- $y = ax^2$
- に代入して,
- $2 = 4a$

$$a = \frac{1}{2}$$

点Aのy座標は,  $y = \frac{1}{2} \times (-4)^2 = 8$       よって, 点Aの座標は,  $(-4, 8)$

- ② 直線
- $l$
- の式を求めなさい。

求める  $l$  の式を  $y = ax + b$  とすると, A, Bを通るから,  $\begin{cases} 8 = -4a + b \\ 2 = 2a + b \end{cases}$

これを解いて,  $a = -1$ ,  $b = 4$

したがって,  $y = -x + 4$

- ③
- $\triangle OAB$
- の面積を求めなさい。

$$\triangle OAB = \frac{1}{2} \times 4 \times 4 + \frac{1}{2} \times 4 \times 2 = 12$$

Q 2

下の図のように, 関数  $y = \frac{1}{4}x^2$  のグラフ上に, x座標が-4である点Aをとる。Aを通り, 傾きが  $-\frac{1}{2}$  である直線を  $l$  とし,  $l$  とy軸の交点をBとする。このとき,  $\triangle OAB$  の面積を求めなさい。

点Aは関数  $y = \frac{1}{4}x^2$  のグラフ上の点だから,

そのy座標は,  $y = \frac{1}{4} \times (-4)^2 = 4$

直線  $l$  は傾きが  $-\frac{1}{2}$  だから, その式は,

$y = -\frac{1}{2}x + b$  とおける。

$l$  は,  $A(-4, 4)$  を通るから,  $4 = -\frac{1}{2} \times (-4) + b$

$$b = 2$$

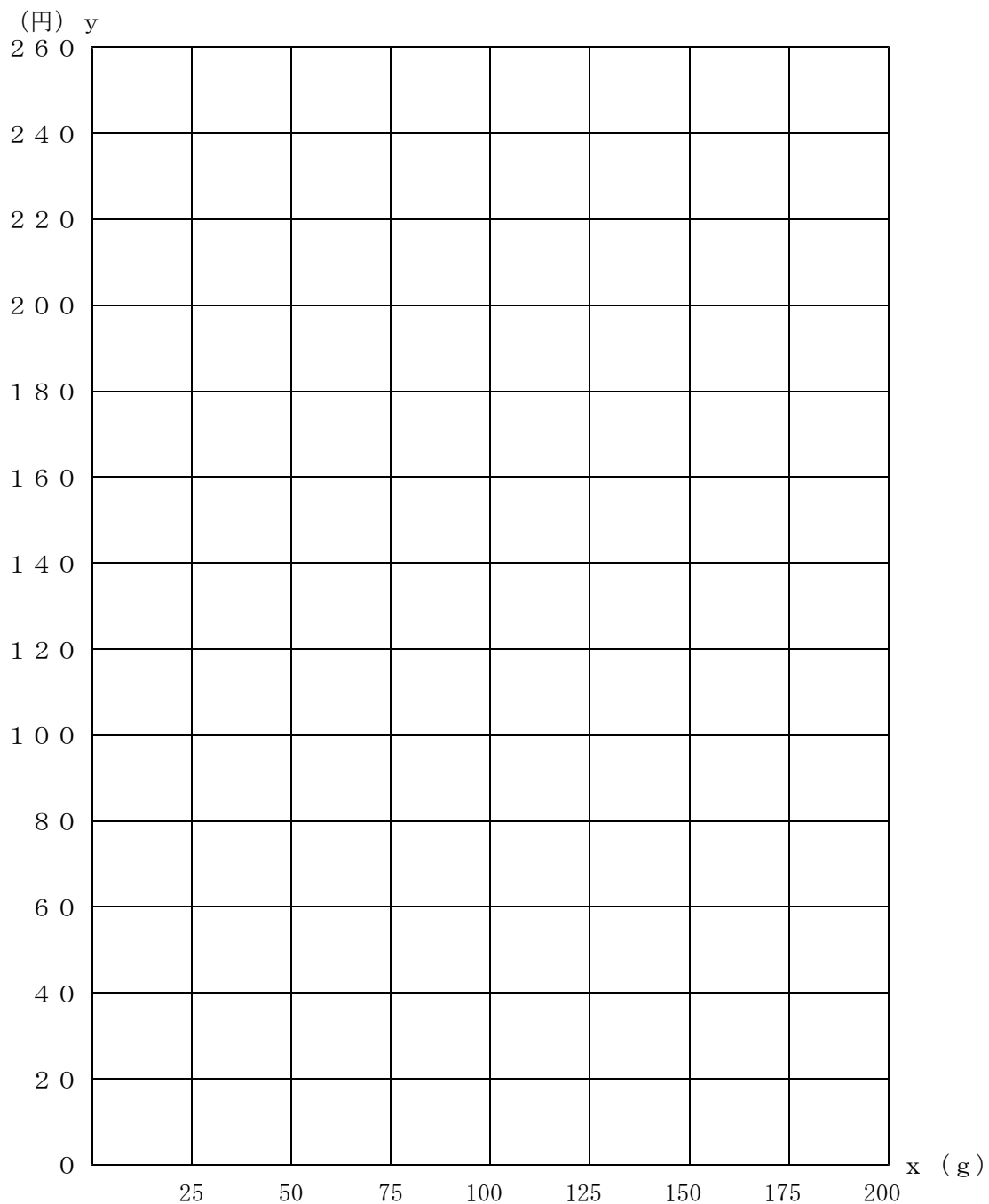
よって, Bのy座標は2である。

$$\triangle ABC \text{ の面積} = \frac{1}{2} \times 2 \times 4 = 4$$

- Q はる子は、ある作文コンクールに友人たちと応募することにした。みんなの作文をまとめて送るために、郵便物の重さと郵便料金との関係調べたら、右の表のとおりであった。この表で、郵便物の重さが  $x$  g のときの郵便料金を  $y$  円とすると、 $y$  は  $x$  の関数である。この関数のグラフをかけ。ただし、 $x$  の変域は  $0 < x \leq 200$  とする。

郵便物の重さ	郵便料金
50 g まで	120 円
75 g まで	140 円
100 g まで	160 円
150 g まで	200 円
200 g まで	240 円

(定形外郵便物の場合)



&lt;今日のひとこと&gt;

チームという単語に I（私）は無い。だが、勝利に I（私）はある。（マイケル・ジョーダン）

Q はる子は、ある作文コンクールに友人たちと応募することにした。みんなの作文をまとめて送るために、郵便物の重さと郵便料金との関係調べたら、右の表のとおりであった。この表で、郵便物の重さが  $x$  g のときの郵便料金を  $y$  円とすると、 $y$  は  $x$  の関数である。この関数のグラフをかけ。ただし、 $x$  の変域は  $0 < x \leq 200$  とする。

郵便物の重さ	郵便料金
50 g まで	120 円
75 g まで	140 円
100 g まで	160 円
150 g まで	200 円
200 g まで	240 円

(定形外郵便物の場合)

$0 < x \leq 50$  のとき  $y = 120$

$50 < x \leq 75$  のとき  $y = 140$

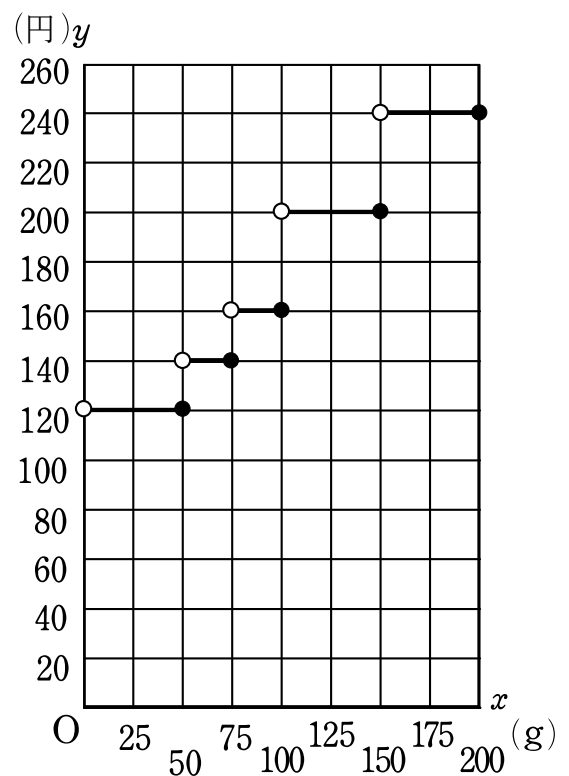
$75 < x \leq 100$  のとき  $y = 160$

$100 < x \leq 150$  のとき  $y = 200$

$150 < x \leq 200$  のとき  $y = 240$

グラフは、それぞれの  $x$  の値の範囲で、 $x$  軸に平行な線分である。

よって、右の図のようになる。





- 1 横の長さが縦の長さの2倍の長方形がある。縦の長さを  $x$  cm, 面積を  $y$  cm<sup>2</sup> とするとき、次の問いに答えなさい。

①  $y$  を  $x$  の式で表しなさい。

②  $x$  の変域が  $0 < x < 5$  のとき、 $y$  の変域を求めなさい。

③ 面積が  $32$  cm<sup>2</sup> になるときの縦の長さを求めなさい。

- 3 次の問いに答えなさい。

① 下の表は、 $y$  が  $x$  の2乗に比例する関係を表している。ア、イにあてはまる数を入れなさい。

$x$	0	1	2	3
$y$	0	ア	16	イ

③ 関数  $y = ax^2$  で、 $x$  の値が3から6まで増加すると、 $y$  の値が54増加する。このとき、 $a$  の値を求めなさい。

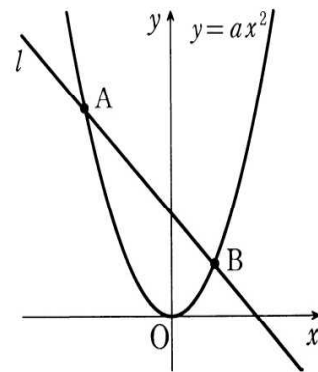
- 2  $y$  が  $x$  の2乗に比例しているとき、次のそれぞれの場合について、 $y$  を  $x$  の式で表しなさい。

①  $x = 4$  のとき、 $y = 48$  である。

②  $x$  の変域が  $0 \leq x \leq 3$  のとき、 $y$  の変域が、 $0 \leq y \leq 12$  である。

③  $x$  の値が1から3まで増加するとき、変化の割合が $-8$ である。

② 下の図は、 $y = ax^2$  と  $y = -2x + 3$  のグラフで、点Aの  $x$  座標は $-3$  である。このとき  $a$  の値を求めなさい。



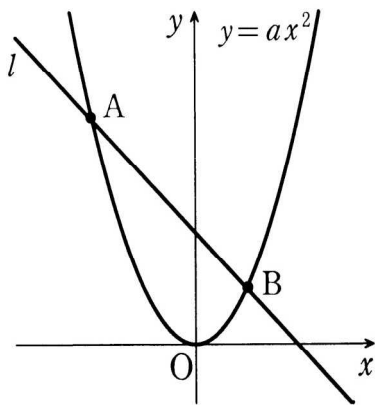
④ 関数  $y = -x^2$  で、 $x$  の値が  $p$  から  $p + 1$  まで増加したときの変化の割合が5である。このとき、 $p$  の値を求めなさい。

- 4 高い所から物を落とすとき、落ちはじめてから  $t$  秒間に落ちる距離を  $S$  (m) とすると、 $S$  は  $t$  の 2 乗に比例し、 $t = 1$  のとき、 $S = 4.9$  であった。このとき、次の問いに答えなさい。

- ①  $S$  を  $t$  の式で表しなさい。                      ② 落ちはじめてから 2 秒間に何 m 落ちたことになるか。

- ③ 落ちる距離が 78.4 m になるのに何秒かかるか求めなさい。                      ④ 落ちはじめてから 3 秒から 5 秒までの平均の速さを求めなさい。

- 5 下の図のように、放物線  $y = ax^2$  と直線  $l$  がある。このとき、次の問いに答えなさい。

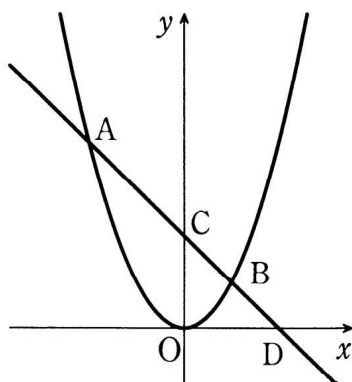


- ① 直線  $l$  は切片が 4 で、点  $(7, -3)$  を通る。直線  $l$  の式を求めなさい。

- ② 放物線と直線  $l$  は点  $A(-4, 8)$  で交わっている。このとき、 $a$  の値を求めなさい。

- ③ 放物線で、 $x$  の変域が  $-2 \leq x \leq 3$  のとき、 $y$  の変域を求めなさい。

- 6 下の図で、 $y = ax^2$  と  $y = -\frac{1}{2}x + 4$  のグラフがある。その交点のうち、 $x$  座標が負の方を  $A$ 、正の方を  $B$  とする。直線と  $y$  軸との交点を  $C$ 、 $x$  軸との交点を  $D$  とする。 $CB = DB$  のとき、次の問いに答えなさい。



- ①  $D$  の座標を求めなさい。                      ②  $a$  の値を求めなさい。

- ③  $\triangle AOB$  の面積を求めなさい。

1

①

②

③

c m

4

①

②

m

③

秒

④

m

2

①

②

③

5

①

②

a =

③

3

①

ア :

イ :

②

a =

③

a =

④

p =

6

①

②

a =

③

1

①

$$y = 2x^2$$

②

$$0 < y < 50$$

③

$$4 \text{ cm}$$

4

①

$$S = 4.9t^2$$

②

$$19.6 \text{ m}$$

③

$$4 \text{ 秒}$$

④

$$39.2 \text{ m}$$

2

①

$$y = 3x^2$$

②

$$y = \frac{4}{3}x^2$$

③

$$y = -2x^2$$

5

①

$$y = -x + 4$$

②

$$a = \frac{1}{2}$$

③

$$0 \leq y \leq \frac{1}{2}$$

3

①

$$\text{ア: } 4 \quad \text{イ: } 36$$

②

$$a = 1$$

③

$$a = 2$$

④

$$p = -3$$

6

①

$$D(8, 0)$$

②

$$a = \frac{1}{8}$$

③

$$24$$

- 1 横の長さが縦の長さの2倍の長方形がある。  
縦の長さを  $x$  cm, 面積を  $y$  cm<sup>2</sup> とするとき、  
次の問いに答えなさい。

- ①  $y$  を  $x$  の式で表しなさい。

$$\begin{aligned} \text{縦の長さが } x \text{ だから, 横の長さは, } 2x \\ \underline{y = 2x^2} \end{aligned}$$

- ②  $x$  の変域が  $0 < x < 5$  のとき,  $y$  の変域を求めなさい。

$$\begin{aligned} x = 0 \text{ のとき, } y = 0 \\ x = 5 \text{ のとき, } y = 50 \\ \underline{0 < y < 50} \end{aligned}$$

- ③ 面積が  $32$  cm<sup>2</sup> になるときの縦の長さを求めなさい。

$$\begin{aligned} y = 2x^2 \text{ に代入して,} \\ 2x^2 = 32 \\ x^2 = 16 \\ x = \pm 4 \quad \underline{\text{縦の長さは, } 4 \text{ (cm)}} \end{aligned}$$

- 3 次の問いに答えなさい。

- ① 下の表は,  $y$  が  $x$  の2乗に比例する関係を表している。ア, イにあてはまる数を入れなさい。

$$\begin{aligned} x = 2 \text{ のとき } y = 6 \text{ だから,} \\ y = ax^2 \text{ に代入して,} \\ 4a = 16 \\ a = 4 \\ y = 4x^2 \\ \text{よって,} \\ x = 1 \text{ のとき, } y = 4 \times 1 = 4 \quad \underline{\text{ア: } 4} \\ x = 3 \text{ のとき, } y = 4 \times 9 = 36 \quad \underline{\text{イ: } 36} \end{aligned}$$

- ③ 関数  $y = ax^2$  で,  $x$  の値が3から6まで増加すると,  $y$  の値が54増加する。このとき,  $a$  の値を求めなさい。

$$\begin{aligned} x = 3 \text{ のとき, } y = 9a \\ x = 6 \text{ のとき, } y = 36a \\ 36a - 9a = 54 \\ 27a = 54 \\ a = 2 \quad \underline{a = 2} \end{aligned}$$

- 2  $y$  が  $x$  の2乗に比例しているとき, 次のそれぞれの場合について,  $y$  を  $x$  の式で表しなさい。

- ①  $x = 4$  のとき,  $y = 48$  である。

$$\begin{aligned} y = ax^2 \text{ に代入すると,} \\ 16a = 48 \\ a = 3 \quad \underline{y = 3x^2} \end{aligned}$$

- ②  $x$  の変域が  $0 \leq x \leq 3$  のとき,  $y$  の変域が,  $0 \leq y \leq 12$  である。

$$\begin{aligned} x = 3 \text{ のとき, } y = 12 \text{ だから,} \\ y = ax^2 \text{ に代入すると,} \\ 9a = 12 \\ a = \frac{4}{3} \quad \underline{y = \frac{4}{3}x^2} \end{aligned}$$

- ③  $x$  の値が1から3まで増加するとき, 変化の割合が $-8$ である。

$$\begin{aligned} a(1+3) = -8 \\ 4a = -8 \\ a = -2 \quad \underline{y = -2x} \end{aligned}$$

- ② 下の図は,  $y = ax^2$  と  $y = -2x + 3$  のグラフで, 点Aの  $x$  座標は $-3$ である。このとき  $a$  の値を求めなさい。

$$\begin{aligned} \text{点Aの } x \text{ 座標が } -3 \text{ だから,} \\ y = -2x + 3 \text{ に代入して, } y = 9 \\ \text{よって, } A(-3, 9) \text{ になる。} \\ \text{これを } y = ax^2 \text{ に代入して,} \\ 9a = 9 \\ a = 1 \quad \underline{a = 1} \end{aligned}$$

- ④ 関数  $y = -x^2$  で,  $x$  の値が  $p$  から  $p+1$  まで増加したときの変化の割合が5である。このとき,  $p$  の値を求めなさい。

$$\begin{aligned} -(p+p+1) = 5 \\ -2p - 1 = 5 \\ -2p = 6 \\ p = -3 \quad \underline{p = -3} \end{aligned}$$

- 4 高い所から物を落とすとき、落ちはじめてから  $t$  秒間に落ちる距離を  $S$  (m) とすると、 $S$  は  $t$  の 2 乗に比例し、 $t = 1$  のとき、 $S = 4.9$  であった。このとき、次の問いに答えなさい。

- ①  $S$  を  $t$  の式で表しなさい。

$S$  が  $t$  の 2 乗に比例するから、 $S = a t^2$  に

$t = 1$ 、 $S = 4.9$  を代入して、

$$4.9 = a \times 1$$

$$a = 4.9$$

$$\underline{S = 4.9 t^2}$$

- ② 落ちはじめてから 2 秒間に何 m 落ちたことになるか。

$t = 2$  を、 $S = 4.9 t^2$  に代入すると、

$$S = 4.9 \times 2^2 = 4.9 \times 4$$

$$= 19.6 \quad \underline{19.6 \text{ (m)}}$$

- ③ 落ちる距離が 78.4 m になるのに何秒かかるか求めなさい。

$S = 78.4$  を、 $S = 4.9 t^2$  に

代入すると、

$$4.9 t^2 = 78.4$$

$$t^2 = 16$$

$$t = \pm 4$$

$$\underline{4 \text{ (秒)}}$$

- ④ 落ちはじめてから 3 秒から 5 秒までの平均の速さを求めなさい。

$t = 3$  のとき、 $S = 44.1$

$t = 5$  のとき、 $S = 122.5$

$$\text{よって、} \frac{122.5 - 44.1}{5 - 3}$$

$$= 39.2 \quad \underline{39.2 \text{ (m)}}$$

- 5 下の図のように、放物線  $y = a x^2$  と直線  $l$  がある。このとき、次の問いに答えなさい。

- ① 直線  $l$  は切片が 4 で、点  $(7, -3)$  を通る。直線  $l$  の式を求めなさい。

直線  $l$  は、 $y = b x + 4$  と表せる。点  $(7, -3)$  を通るから、 $-3 = b \times 7 + 4$

$$7b = -7$$

$$b = -1$$

したがって、直線  $l$  の式は、 $y = -x + 4$

- ② 放物線と直線  $l$  は点  $A(-4, 8)$  で交わっている。このとき、 $a$  の値を求めなさい。

$A(-4, 8)$  は放物線  $y = a x^2$  上にあるから、 $8 = a \times (-4)^2$  よって、 $a = \frac{1}{2}$

- ③ 放物線で、 $x$  の変域が  $-2 \leq x \leq 3$  のとき、 $y$  の変域を求めなさい。

$x$  の変域が  $-2 \leq x \leq 3$  だから、 $y$  の最小値は、 $x = 0$  のとき、 $y = 0$

$$y \text{ の最大値は、} x = 3 \text{ のとき、} y = \frac{1}{2} \times 3^2 = \frac{9}{2}$$

- 6 下の図で、 $y = a x^2$  と  $y = -\frac{1}{2} x + 4$  のグラフがある。その交点のうち、 $x$  座標が負の方を  $A$ 、正の方を  $B$  とする。直線と  $y$  軸との交点を  $C$ 、 $x$  軸との交点を  $D$  とする。 $CB = DB$  のとき、次の問いに答えなさい。

- ①  $D$  の座標を求めなさい。

$y = -\frac{1}{2} x + 4$  に  $y = 0$  を代入して、

$$0 = -\frac{1}{2} x + 4$$

$$x = 8 \quad \text{よって、} \underline{D(8, 0)}$$

- ②  $a$  の値を求めなさい。

$CB = DB$  だから、点  $B$  は、線分  $CD$  の中点。

点  $C(0, 4)$ 、点  $D(8, 0)$  だから、

$B$  の座標は  $(4, 2)$

$y = a x^2$  は、点  $B$  を通るから、 $2 = a \times 4^2$

$$\underline{a = \frac{1}{8}}$$

- ③  $\triangle AOB$  の面積を求めなさい。

$$\frac{1}{8} x^2 = -\frac{1}{2} x + 4 \quad \text{この 2 次方程式を解いて、} x = -8, 4$$

$$x = -8 \text{ のとき、} y = \frac{1}{8} \times (-8)^2 = 8 \quad \text{よって、点 } A \text{ の座標は、} (-8, 8)$$

$$\text{したがって、} \triangle AOB = \frac{1}{2} \times 4 \times (8 + 4) = \underline{24}$$

- 1 次のア～ウの式から、下の①～④にあてはまるものをすべて選び、記号で答えなさい。

(5点×4＝20点)

$$\text{ア} \quad y = -2x$$

$$\text{イ} \quad y = -2x^2$$

$$\text{ウ} \quad y = 2x^2$$

- ① グラフが  $x$  軸の下側に出ない放物線である。      ②  $x$  が増加するとき、 $y$  はつねに減少する。
- ③  $x < 0$  の範囲では、 $y$  の値はつねに正の数である。      ④ グラフが原点を通る。

- 2 次の問いに答えなさい。(5点×6＝30点)

- ①  $y$  は  $x$  の2乗に比例し、 $x = -2$  のとき、 $y = 16$  である。このとき、 $y$  を  $x$  の式で表しなさい。
- ②  $y$  は  $x$  の2乗に比例し、 $x = -3$  のとき、 $y = 18$  である。 $x = -6$  のとき、 $y$  の値を求めなさい。
- ③ 関数  $y = -4x^2$  について、 $x$  が2から5まで増加するときの変化の割合を求めなさい。
- ④ 関数  $y = 2x^2$  について、 $x$  の変域が  $-1 \leq x \leq 3$  のとき、 $y$  の変域を求めなさい。
- ⑤ 関数  $y = ax^2$  について、 $x$  が $-1$ から3まで増加するときの変化の割合が4であるとき、 $a$  の値を求めなさい。
- ⑥ 関数  $y = ax^2$  のグラフが、点(2, 8)を通る。この関数で、 $x$  の値が2から5まで増加するときの変化の割合を求めなさい。

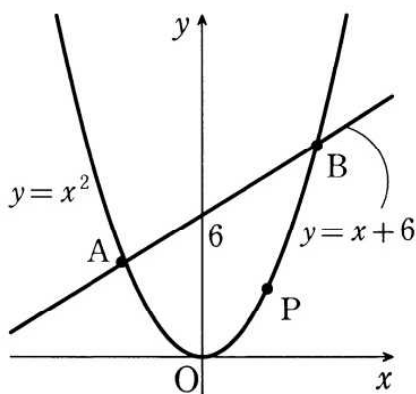
3

ある飛行機が離陸してから  $x$  分間に飛ぶ距離を  $y$  km とすると、 $0 \leq x \leq 10$  の範囲で、 $y = \frac{5}{6}x^2$  という関係があった。このとき、次の問いに答えなさい。(5点×3=15点)

- ① 離陸して4分後までに飛んだ距離を求めなさい。      ② 離陸してから5分後から7分後までの平均の速さを求めなさい。
- ③ 7.5 km 飛ぶのは、離陸してから何分後か求めなさい。

4

下の図のように、 $y = x^2$  と  $y = x + 6$  の交点を A, B とする。また、点 P は  $y = x^2$  上を A から B まで動く。このとき、次の問いに答えなさい。(5点×3=15点)

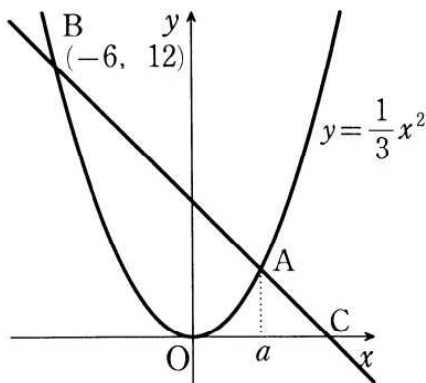


① 点 A, B の座標をそれぞれ求めなさい。

② 点 P が原点にあるとき、 $\triangle ABP$  の面積を求めなさい。

5

下の図のように、関数  $y = \frac{1}{3}x^2$  のグラフ上に2点 A, B があり、この2点を通る直線は  $x$  軸と点 C で交わる。点 O は原点で、点 A の  $x$  座標は  $a$ 、点 B の座標は  $(-6, 12)$  である。このとき、次の問いに答えなさい。(5点×4=20点)



①  $a = 3$  のとき、点 A の座標を求めなさい。

②  $a = 3$  のとき、2点 A, B を通る直線の式を求めなさい。

③  $a = 3$  のとき、 $\triangle OCB$  の面積を求めなさい。

- ④ 関数  $y = \frac{1}{3}x^2$  について、 $x$  の変域が  $b \leq x \leq 1$  のとき、 $y$  の変域が  $0 \leq y \leq 3$  である。このとき、 $b$  の値を求めなさい。



1

①	
②	
③	
④	

2

①	
②	
③	
④	
⑤	a =
⑥	

3

①	k m
②	k m／分
③	分後

4

①	A : -----
②	B :

5

①	
②	
③	
④	b =

1

①

ウ

②

ア

③

ア, ウ

④

ア, イ, ウ

2

①

$$y = 4x^2$$

②

7 2

③

- 2 8

④

$$0 \leq y \leq 18$$

⑤

$$a = 2$$

⑥

1 4

3

①

$$\frac{40}{3} \text{ km}$$

②

1 0 km/分

③

3 分後

4

①

A(-2, 4)

B(3, 9)

②

1 5

5

①

(3, 3)

②

$$y = -x + 6$$

③

3 6

④

$$b = -3$$

- 1 次のア～ウの式から、下の①～④にあてはまるものをすべて選び、記号で答えなさい。

(4点×4=16点)

- ① グラフが  $x$  軸の下側に出ない放物線である。  
 $x$  軸の下側に出ない  $\rightarrow y \geq 0$  である。 ウ

- ②  $x$  が増加するとき、 $y$  はつねに減少する。  
 $y$  はつねに減少  $\rightarrow$  変化の割合一定 ア

- ③  $x < 0$  の範囲では、 $y$  の値はつねに正の数  
ア、ウ

- ④ グラフが原点を通る。  
ア、イ、ウ

- 2 次の問いに答えなさい。(4点×5=20点)

- ①  $y$  は  $x$  の2乗に比例し、 $x = -2$  のとき、 $y = 16$  である。このとき、 $y$  を  $x$  の式で表しなさい。

$$\begin{aligned} x = -2, y = 16 \text{ を } y = ax^2 \text{ に代入し,} \\ 4a = 16 \\ a = 4 \end{aligned}$$

$$\underline{y = 4x^2}$$

- ②  $y$  は  $x$  の2乗に比例し、 $x = -3$  のとき、 $y = 18$  である。 $x = -6$  のとき、 $y$  の値を求めなさい。

$$\begin{aligned} x = -3, y = 18 \text{ を } y = ax^2 \text{ に代入し} \\ 9a = 18 \\ a = 2 \end{aligned}$$

よって、 $y = 2x^2$  となる。

$$\begin{aligned} x = -6 \text{ を } y = 2x^2 \text{ に代入して,} \\ y = 2 \times (-6)^2 = 72 \end{aligned}$$

$$\underline{y = 72}$$

- ③ 関数  $y = -4x^2$  について、 $x$  が2から5まで増加するときの変化の割合を求めなさい。

$$\begin{aligned} -4(2+5) &= -4 \times 7 = -28 \\ \text{変化の割合は, } &\underline{-28} \end{aligned}$$

- ④ 関数  $y = 2x^2$  について、 $x$  の変域が  $-1 \leq x \leq 3$  のとき、 $y$  の変域を求めなさい。

$$\begin{aligned} x = -1 \text{ のとき, } y &= 2 \\ x = 3 \text{ のとき, } y &= 18 \end{aligned}$$

グラフは上に開いたグラフだから、

$$x = 0 \text{ のとき, } y = 0 \text{ である。} \underline{0 \leq y \leq 18}$$

- ⑤ 関数  $y = ax^2$  について、 $x$  が  $-1$  から  $3$  まで増加するときの変化の割合が  $4$  であるとき、 $a$  の値を求めなさい。

$$\begin{aligned} a(-1+3) &= 4 \\ 2a &= 4 \\ a &= 2 \end{aligned}$$

$$\underline{a = 2}$$

- ⑥ 関数  $y = ax^2$  のグラフが、点  $(2, 8)$  を通る。この関数で、 $x$  の値が  $2$  から  $5$  まで増加するときの変化の割合を求めなさい。

グラフが点  $(2, 8)$  を通るから、  
 $y = ax^2$  に代入して、

$$\begin{aligned} 4a &= 8 \\ a &= 2 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{よって、変化の割合は, } 2(2+5) &= 14 \\ \text{変化の割合は, } &\underline{14} \end{aligned}$$

- 3 ある飛行機が離陸してから  $x$  分間に飛ぶ距離を  $y$  km とすると、 $0 \leq x \leq 10$  の範囲で、 $y = \frac{5}{6}x^2$

という関係があった。このとき、次の問いに答えなさい。(4点×3=12点)

- ① 離陸して4分後までに飛んだ距離を求めなさい。

$$y = \frac{5}{6} \times 4^2 = \frac{40}{3} = \underline{\frac{40}{3}} \text{ (km)}$$

- ② 離陸してから5分後から7分後までの平均の速さを求めなさい。

$$\frac{5}{6} \times (5+7) = 10 = \underline{10} \text{ (km/分)}$$

- ③ 7.5 km 飛ぶのは、離陸してから何分後か求めなさい。

$$\frac{5}{6}x^2 = 7.5 \quad x^2 = 9 \quad x = \pm 3 \quad \underline{3 \text{ (分後)}}$$

4

下の図のように、 $y = x^2$  と  $y = x + 6$  の交点を A, B とする。また、点 P は  $y = x^2$  上を A から B まで動く。このとき、次の問いに答えなさい。(5 点  $\times$  3 = 15 点)

- ① 点 A と B の座標をそれぞれ求めなさい。

連立方程式  $\begin{cases} y = x^2 \\ y = x + 6 \end{cases}$  を解いて、

$$x^2 = x + 6$$

$$x^2 - x - 6 = 0$$

$$(x - 3)(x + 2) = 0$$

$$x = -2, 3 \quad \text{よって, } \underline{A(-2, 4), B(3, 9)}$$

- ② 点 P が原点にあるとき、 $\triangle ABP$  の面積を求めなさい。

直線 AB と y 軸との交点を C とすると、 $C(0, 6)$

$$\triangle ABP = \triangle ABO = \triangle AOC + \triangle BOC$$

$$= \frac{1}{2} \times 6 \times (3 + 3) = \underline{15}$$

5

下の図のように、関数  $y = \frac{1}{3}x^2$  のグラフ上に 2 点 A, B があり、この 2 点を通る直線は x 軸と点 C で交わる。点 O は原点で、点 A の x 座標は a、点 B の座標は  $(-6, 12)$  である。このとき、次の問いに答えなさい。(5 点  $\times$  4 = 20 点)

- ①  $a = 3$  のとき、点 A の座標を求めなさい。

点 A は、 $y = \frac{1}{3}x^2$  のグラフ上の点だから、 $x = 3$  を代入して、

$$y = \frac{1}{3} \times 3^2 = 3 \quad \text{よって, } \underline{A(3, 3)}$$

- ②  $a = 3$  のとき、2 点 A, B を通る直線の式を求めなさい。

2 点 A, B を通る直線の式を  $y = mx + n$  とすると、

点  $(3, 3)$  を通るから、 $3 = 3m + n$

点  $(-6, 12)$  を通るから、 $12 = -6m + n$

この連立方程式をとりて、 $m = -1, n = 6$

$$\text{よって, } \underline{y = -x + 6}$$

- ③  $a = 3$  のとき、 $\triangle OCB$  の面積を求めなさい。

点 C は、直線  $y = -x + 6$  上の点で、y 座標が 0 だから、

x 座標は、 $0 = -x + 6$

$$x = 6$$

よって、 $OC = 6$

$$\text{したがって, } \triangle OCB = \frac{1}{2} \times 6 \times 12 = \underline{36}$$

- ④ 関数  $y = \frac{1}{3}x^2$  について、x の変域が  $b \leq x \leq 1$  のとき、y の変域が  $0 \leq y \leq 3$  である。このとき、b の値を求めなさい。

y の最小値が 0 だから、x の変域には 0 がふくまれていて  $b \leq 0$

また、 $x = 1$  のとき、 $y = \frac{1}{3} \times 1^2 = \frac{1}{3}$  だから、 $x = b$  のとき、 $y = 3$  となる。

$$\text{よって, } 3 = \frac{1}{3} \times b^2$$

$$b^2 = 9$$

$$b = \pm 3$$

$$b \leq 0 \text{ より, } \underline{b = -3}$$